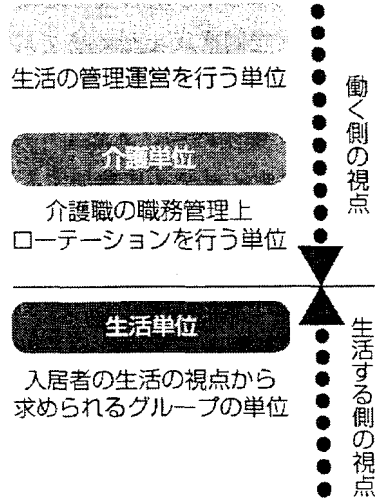


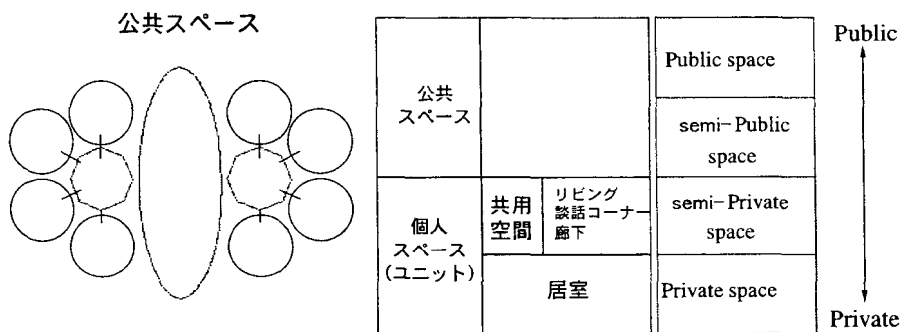
空間とケアの融合



個室ユニットの解釈

限られた職員数の中で個別ケアを効果的に行うハード

個室ユニットに基づく平面構成



2 : 小規模生活単位型特養の計画

個室ユニットケアに求められるハード

■ユニット内で基本的な生活が完結するハード

- ・ 休息、食事、整容、排泄、入浴をユニット内で完結できること
- ・ ケア動線の短縮化
- ・ 浴室については個別浴槽を中心に1? 2ユニットで整備する

■居心地のよい食堂とリビング

- ・ 居室とリビングの位置関係
- ・ 適度な独立性を保ちつつ、気配がわかること
- ・ 食事のための椅子やテーブルと くつろぐための椅子やソファ
- ・ スタッフコーナーを一角にもうける
- ・ 食堂・リビングの近くにも共用のトイレを設ける

個室ユニットケアに求められるハード

■ユニットの独立性

- ・職員配置を想定しつつユニットの規模と独立性を考えること
- ・入浴を考えると日勤に二人は必要
- ・記録の電子化がすすんでいる

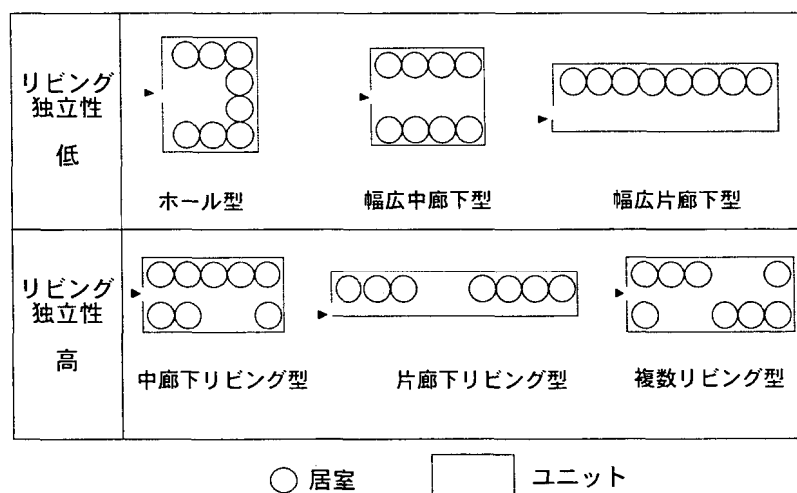
■セミパブリックスペース、パブリックスペース

- ・ユニットの外へと生活を段階的に広げてゆくこと
- ・戸外空間の重要性（フラストレーションのたまらない環境）

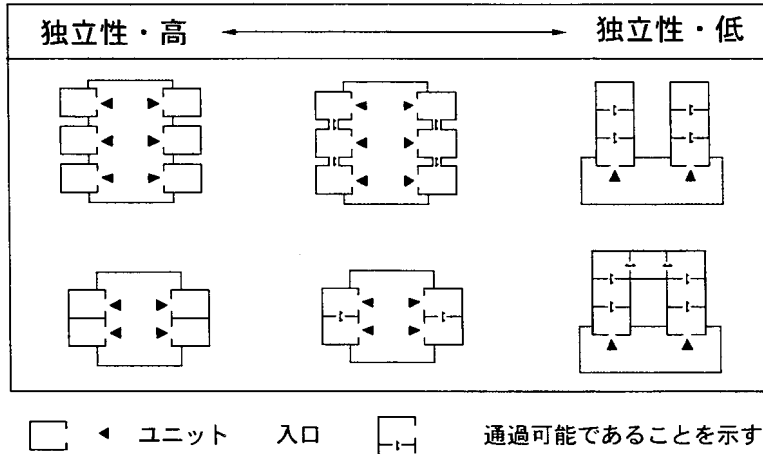
■普通の暮らし と 安全性への配慮

- ・転倒転落への配慮（トイレ、床材、低床ベッド、畳、浴槽）
- ・センサー、鍵の位置づけ（居室の鍵、エレベーターほか）

居室と食堂・リビングの関係性



ユニットとユニットの関係性



ユニット規模と職員配置の関係性

	入居者：職員比率			
	3:1	2.5:1	2:1	1.5:1
6名	2.0	2.4	3.0	4.0
7名	2.3	2.8	3.5	4.7
8名	2.7	3.2	4.0	5.3
9名	3.0	3.6	4.5	6.0
10名	3.3	4.0	5.0	6.7
11名	3.7	4.4	5.5	7.3
12名	4.0	4.8	6.0	8.0
13名	4.3	5.2	6.5	8.7
14名	4.7	5.6	7.0	9.3
15名	5.0	6.0	7.5	10.0
16名	5.3	6.4	8.0	10.7
17名	5.6	6.8	8.5	11.3
18名	6.0	7.2	9.0	12.0
19名	6.3	7.6	9.5	12.7
20名	6.6	8.0	10.0	13.3
21名	7.0	8.4	10.5	14.0

- 日中職員1名で立案可
- 日中職員2名で立案可
- 日中職員3名で立案可

職員ユニット固定
夜勤2ユニットで1名
夜勤 月6回
夕方から夜勤帯までの
パートあり

ユ
ニ
允
ト
定
員